



子ども文化祭 個性輝く演出で 思いを表現

10月27日、市民館で、竹原市子ども文化祭が開催され、開会に併せて、竹原市学校緑化推進事業と地場産物を使用した朝ごはん料理コンテストの表彰式が行われました。

竹原市学校緑化推進事業では、グリーンカーテンの設置やマリーゴールドの栽培などに取り組んだ東野小学校が、最優秀賞を受賞しました。

また、地場産物を使用した朝ごはん料理コンテストでは、オリジナル性が高く、朝ごはんにふさわしい料理として、2品が最優秀賞に選ばれました。

表彰式終了後、市内5校の小学校と1校の中学校が、歌などを発表しました。日頃の練習の成果を発揮し、それぞれ多彩な表現力で来場者を魅了しました。

地場産物を使用した朝ごはん料理コンテスト最優秀賞



「きんぴらトースト」
安岐直将くん(忠海中学校3年)
家にあった食材を使い、栄養のバランスを考えて料理しました。



「トマトみそ汁」
山下竜司くん(中通小学校6年)
「夏バテの防止になるように」と思って作りました。



広げよう 仲間の輪 仁賀ダムでウォークラリー

11月11日、仁賀町で、「仁賀ダム1周ウォークラリー」が開催され、子どもから大人まで、約90人が参加しました。初の試みとなる今回の企画は、北部4つの公民館(東野・莊野・田万里・仁賀)が合同で行ったもの。地域間・世代間の交流を目的としています。10班に分かれ、5か所のチェックポイントを目指し、約4kmの仁賀ダムの周りを1周しました。

「今年6月にダムが完成しました。庄野地区に住む竹下純子さんは、夫婦そろって参加されました。この日、仁賀ダムにはたくさん人の笑い声が響き渡りました。地域や世代の垣根を越え、今回のウォークラリー。あいにくの雨でしたが、みなさん、紅葉で色づいた山々を見て、「良い季節じゃねえ」と、感嘆の声を漏らしていました。で、どんなふうになっているのか興味を持っていました。紅葉もきれいだし、他の地域の人とも交流できて楽しいですね。」と、笑顔で感想を話してくれました。

体験して楽しく学ぶ 防災

10月28日、バンブー公園で、家族で学ぶ防災教室が開催され、40人の親子が参加しました。煙が充満したテントの中を進む「煙体験ハウス」や新聞紙で作る「紙スリッパ」が楽しかったとの感想が聞かれました。体験を通して、防災について楽しく学びました。



声援を力に変えて走りぬく

11月11日、休暇村大久野島で、ラビットクロカンが開催され、356人が参加しました。大きな声援を受けながら、参加者と共に走ったのは、ミュンヘン五輪代表選手の采谷義秋さん。みなさんが、ゴールまで一生懸命走りぬく姿が印象的でした。



ふるさと竹原へ 温かいメッセージ

11月14日、東京都内で、第22回東京竹原会が開催され、市役所、商工会議所などが参加し、竹原にゆかりのあるみなさんと意見交換を行いました。会場のみなさんからいただいたのは、ふるさと竹原への提言や応援メッセージ。竹原への愛あふれる会となりました。



おめでとうございます 軟式野球 全国大会出場

11月28日、「NPB12 球団ジュニアトーナメント ENEOSCUP2012」に出場する大乘クラブスポーツ少年団の飛鷹史也くん（大乘小学校6年）が市長を表敬訪問しました。飛鷹くんは、「選手に選ばれて嬉しい。もっと練習したい。」と、気合十分。今後の活躍が期待されます。



おめでとうございます 秋の褒章・叙勲 受章者

11月2～3日、秋の褒章・叙勲受章者が発表されました。



川崎 俊和さん
(忠海床浦)

川崎俊和さんは、藍綬褒章を受章されました。川崎さんは、41年間、障害のある人の支援に尽力してこられ、現在「ライフサポートホーム聖恵」の施設長を務められています。障害のある人や高齢者に配慮した優しい社会の実現に向けた地道な活動が評価され、受章に至りました。



亀尾 善熙さん
(中央)

亀尾善熙さんは、瑞宝単光章を受章されました。亀尾さんは、32年間、民生委員・児童委員として活動されており、高齢者世帯や子育て世帯への支援などを通して、地域福祉の向上に貢献されています。



塩川 晃市さん
(吉名町)

塩川晃市さんは、瑞宝単光章を受章されました。塩川さんは、約40年間、竹原郵便局の郵政事務官として、郵便物の配達などの郵政業務に尽力してこられました。これまで支えてくれた様々な人に感謝の気持ちを抱かれています。